

京都府南丹市美山町鶴ヶ岡



いつか住みたい！住み続けたい！

究極の田舎

京都美山  鶴ヶ岡

～第2部 暮らしのてびき編～

はじめに

私たちが暮らす「究極の田舎 鶴ヶ岡」は、先人が育て残してくれた日本の原風景が広がる人情豊かな安らぎのまちです。

現在鶴ヶ岡で生活をされている方や、これから生活を始めようと考えておられる方に、「鶴ヶ岡ってどんなところ?」「鶴ヶ岡ってこんなところ」ということを知ってもらえるように、生活や伝統・習慣、ルールなどについてまとめました。

この「てびき」によって、鶴ヶ岡在住の方は、各集落の様子を知り、自らの集落の在りようにつなげていただきたいと思います。移住を考えておられる方は、鶴ヶ岡での生活に十分理解と納得をしていただき、ぜひ鶴ヶ岡での田舎暮らしを考えていただけると幸いです。

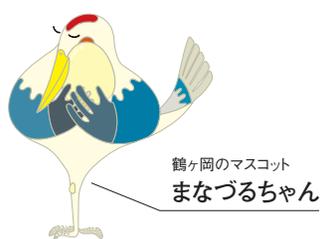
なお、この「てびき」に記載したことが鶴ヶ岡のすべてではなく、書ききれなかった良いことや見直すべきこともあります。また、習慣やルールは時の流れとともに変化するもので、地域のみんなで考えながら、ゆるやかに改善に努めているところです。

あとになりましたが、この「てびき」の発刊にあたり、ご協力をいただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

令和2年4月
鶴ヶ岡振興会

目次

● 鶴ヶ岡はどこにある？ -----	1
● 鶴ヶ岡振興会について -----	3
● 地域を盛り上げるムラづくり団体 -----	5
● 鶴ヶ岡の暮らし -----	6
● 鶴ヶ岡の防災対策 -----	7
● 鶴ヶ岡の氏神様 -----	9
● 鶴ヶ岡の文化 -----	10
● 用語説明 -----	11
● 18区の位置 -----	12
● 各大字・各区について -----	13
● 農業について -----	95
● 電話帳 -----	100
● 移住者のための制度など -----	100

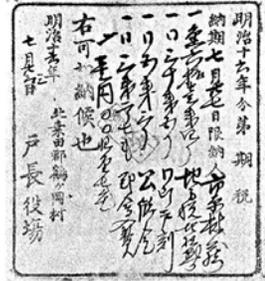


鶴ヶ岡はどこにある？

京都府のほぼ中央、福井県・滋賀県との境にある美山町。
鶴ヶ岡はその北西部です。

名称の由来

舟津から諏訪神社の森へ鶴が飛来したことが「鶴ヶ岡」の名前の由来と言われています。明治9年10月に五ヶ村(現在の大字)ができ、そのとき初めて「鶴ヶ岡」の地名が文献に出ています。



人口

673 名 / 317 世帯

※南丹市住民基本台帳(令和2年2月29日)

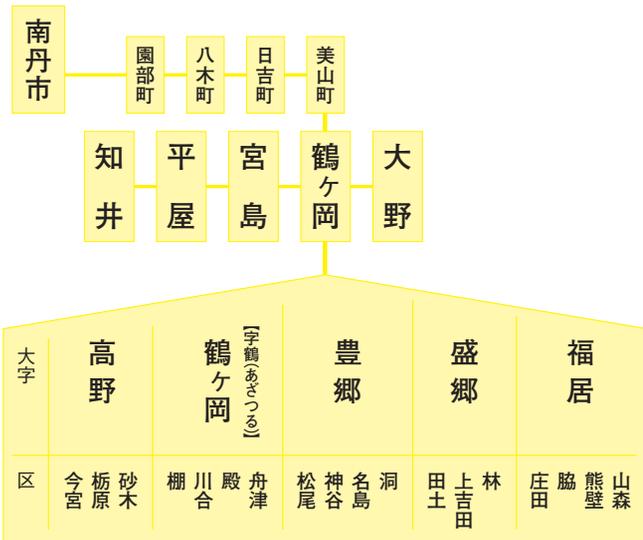
面積

77.67 km²

※うち94%が森林です。

鶴ヶ岡について

鶴ヶ岡は5大字18区で構成されています。

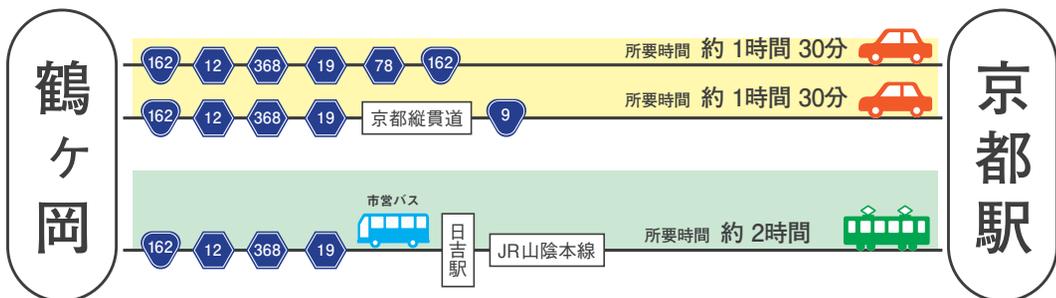




駐在所
 郵便局
 ガソリンスタンド
 EV急速充電スポット



- ・南丹市役所美山支所まで車で5～15分
- ・南丹市役所(園部町)まで車で40～50分



交通アクセス

京都駅からは、国道162号を通るルートと、国道9号・京都縦貫自動車道を通るルートの2つがあります。
 JR山陰本線の日吉駅(最寄り駅)から車で30分です。

鶴ヶ岡振興会について

『住み続けられるまちづくり』をテーマに、誰もが住み続けたいまちをめざして“鶴ヶ岡地域振興計画”を策定し、「にぎわう地域づくり」「やすらぐ地域づくり」「かがやく地域づくり」「うるおう地域づくり」「つながる地域づくり」の5つの目標を掲げています。また、住民アンケートに基づく“推進プラン”のもと、18集落(区)の幅広い年代層が連携して定住促進や都市農村交流など多くの活動を展開しています。

振興会とは

自らの地域は自らが守る『日本一の田舎づくり』をめざして、旧来の自治会、村おこし推進委員会、地区公民館を統合して平成13年4月に発足しました。

美山町の旧村単位である知井、平屋、宮島、鶴ヶ岡、大野の各地域にあります。

住民の利便性を確保するため、各振興会には市の職員が常駐し、住民票の発行など行政窓口サービスも行っているほか、振興会の庶務・会計を補佐しています。

鶴ヶ岡振興会は下記の3部で構成されており、『住み続けられるまちづくり』をテーマに地域づくりに取り組んでいます。

● 企画総務部

地域の将来計画を樹立し、住民要望を実現する部です。防災活動や振興会新聞の発行なども担当しています。

● 地域振興部

産業振興や福祉活動を通じて、住民の生活向上を図る部です。夏まつりや実りの秋まつりなども担当しています。

● 生涯学習・社会教育部

子育て支援やスポーツ・文化活動を通じて、住民の教養向上と健康増進を図る部です。ちびっ子相撲大会や各種スポーツ大会・文化祭・人権学習なども担当しています。

※ほかにも下記の関係組織があります。

● 鶴ヶ岡住み続けられる町づくり推進会議

鶴ヶ岡の民生児童委員、大字総代、区長、ふれあい委員、福祉施設代表、(有)タナセン役員、市議会議員、振興会役員などで構成しています。地域福祉の充実や、いつまでも生きがいをもって、この鶴ヶ岡に住み続けられるまちづくりを推進しています。

● 鶴ヶ岡小学校活用室

平成28年3月に廃校となった鶴ヶ岡小学校の跡地活用を検討しています。振興会役員や地域の若手有志がメンバーです。移住希望者向けの田舎体験ツアーや、しめ縄づくりなど伝統技能の継承教室も開催しています。

● 棚野会

鶴ヶ岡の共有財産(土地、建物など)を管理する組織で、振興会がその事務を行っています。

- ・ 振興会の設立 平成13年4月1日
- ・ 振興会の予算 年間約350万円(令和元年度)
- ・ 振興会費 1戸400円/月(毎月区単位で集金)

※住民はほぼ100%加入しています。

役員

● 選出方法

会長、副会長、事務局長、部長、副部長は、大字総代による選考委員会で候補者を選考し、年度当初の総会で決定します。

各部員は、会長が任命します。

監事は、常任委員会(監事と各部員以外の役員、市議会議員、(有)タナセン代表)の承認を経て、会長が任命します。

● 任期

2年です。

会議

● 総会(年2回)

● 役員会(月1回程度)

● 部会(必要に応じて)

こんなこともしています

● 鶴ヶ岡振興会新聞

毎月1回発行し、全戸配布しています。地域の取組やお知らせ、地域であった旬のニュースなどを掲載しています。

● ツルガオカカンキョウセイビ

旧鶴ヶ岡小学校のグラウンドや体育館などは、災害時の避難所やイベント会場として使用する大切な施設です。「ツルガオカカンキョウセイビ」という名称でグラウンドの草引など、年2回住民総出で整備作業を行っています。

● 小さなまちの美術館

鶴ヶ岡振興会の入り口横のスペースは、鶴ヶ岡の誰もが自分の作品を発表できる美術館になっています。たくさんのアーティストが、年中かわるがわる作品を展示します。鶴ヶ岡の人と文化を再発見できる、にぎやかな場所です。

● 美山暮らしのアプリ

ICTを活用して、高齢者などの見守りや安否確認、地域イベントや野菜の出荷情報などを配信し、地域内の交流を促進しています。

会長(振興会の代表)	1名
副会長(会長の補佐)	2名
事務局長(庶務・会計の責任者)	1名
企画総務部	
部長	1名
副部長	1名
部員	若干名
地域振興部	
部長	1名
副部長	1名
部員	若干名
生涯学習・社会教育部	
部長	1名
副部長	1名
部員	若干名
監事	2名



鶴ヶ岡振興会新聞



ツルガオカカンキョウセイビ



小さなまちの美術館

主な年間行事

● 鶴ヶ岡内行事 ● 美山町内行事

4月	「振興会総会」 「美山町区長会」
5月	「京都美山サイクルロードレース」
6月	「ツルガオカカンキョウセイビ (→P3)」
7月	「夏しごと・夏あそび体験」
8月	「夏まつり」 「上げ松 (→P10)」 「京都美山サイクルグリーンツアー」
9月	「防災訓練」 「栃の実の収穫体験ツアー (→P20)」 「鯖なれ寿司づくり教室」 「美山町ソフトボール大会」
10月	「体育祭」 「諏訪神社例祭」 「ちびっ子相撲大会」 「洞峠の風にふれあう交流会」
11月	「文化祭」 「実りの秋まつり」 「しめ縄づくり教室」 「木こり体験」 「美山ふるさと祭」 「美山かやぶきの里ワンデーマーチ」
12月	
1月	「諏訪神社お祭り初め (→P9)」 「新年会」
2月	「人権学習」 「神谷ふるさと雪まつり (→P52)」 「味噌づくり教室」
3月	「振興会総会」

地域行事の情報

地域内のイベント情報などを知るツールとして、振興会新聞、チラシ、防災無線、ホームページ、フェイスブック、スマホアプリがあります。

↓ 鶴ヶ岡振興会ホームページ
<http://kyotomiyama.com/tsurugaoka/>



↓ 鶴ヶ岡振興会公式フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/tsurugaoka.miyama/>



南丹市ケーブルテレビ

市内全域に張り巡らせた光ケーブルにより、高画質で安定した放送サービスやインターネットサービスを提供しています。また、「なんたんテレビ(11ch)」では、地域に密着した自主放送番組やデータ放送を楽しめます。お問い合わせは、南丹市情報センター(電話：0771-63-1777)です。

振興会主催行事

● 夏まつり

「うら盆」の8月24日前後の土曜日または日曜日の夜に開催しています。帰省者も含めて地域内外から多くの方が訪れ、夜店やステージ、福引を楽しみ、久しぶりに顔を合わせる方たちの間で元気な笑い声が響きます。

● 体育祭

鶴ヶ岡振興会主催の体育行事です。競技内容は各大字選出のスポーツ実行委員会で決定します。近年は高齢化にともない、グラウンドゴルフを種目を選択しています。

● ちびっ子相撲大会

諏訪神社境内で行われる相撲大会です。以前は10月4日の夜に宵宮相撲として行われてきました。近年は少子化の影響で、鶴ヶ岡地区外からも参加者を募り、10月前半の週末の昼に開催しています。

● 文化祭

文化サークルの発表と地元アーティストの作品展示などを行います。

● 実りの秋まつり

例年11月第3日曜日、秋の収穫に喜び感謝するとともに、鶴ヶ岡の食文化を分かち合うことを目的に開催しています。催し物には「農産物品評会・即売会」「野菜販売」「鯖料理コンテスト」のほか、公募による「ステージ発表」などがあります。屋台では鶴ヶ岡ならではの食品が並ぶほか、農家ごとの新米が楽しめる「棚野米の味くらべ」もあり、多くの方でにぎわいます。

● 新年会

新年に各種団体長が一堂に集まって親睦を図るとともに、鶴ヶ岡の取組や課題を共有しています。

● 人権学習

人権が尊重される社会の実現に向け、さまざまな人権問題について正しく理解するための学習会を開催しています。住民一人ひとりが、自らの課題として主体的に取り組むことをめざしています。

美山町内の行事

下記のイベントは住民が主体的に運営する美山町の代表的なイベントで、いずれも各地域の振興会が実行委員会に参画しています。

● 京都美山サイクルロードレース

昭和63年の京都国体で競技会場になったことをきっかけに、例年5月最終日曜日に宮島・平屋の周回コースで開催。全国でも珍しい公道を使った自転車レースで、約1,000人が参加します。前日の個人タイムレースは鶴ヶ岡が会場です。

● 京都美山サイクルグリーンツアー

例年8月第1日曜日に美山町全域を舞台として開催。各地に配置したチェックポイントを自転車で巡るロングライドのイベントで、約1,500人が参加します。鶴ヶ岡でも地域の食材をいかしたエイドステーションが設けられます。

● 美山ふるさと祭

例年11月3日に南丹市役所美山支所周辺で開催。農林産物品評会やステージショーのほか、地域の食材を使った屋台が立ち並ぶ美山の秋を代表するイベントで、地域内外から多数の方が訪れます。

● 美山かやぶきの里ワンデーマーチ

例年11月3日に「美山ふるさと祭」と同時開催。鶴ヶ岡は通りませんが、美山小学校からかやぶきの里や大野までの「美しい日本の歩きたくなる道500選」にも選ばれたコースを歩くウォーキングイベントで、約600人が参加します。

地域を盛り上げるムラづくり団体

体験教室を開催し、地域の生活・文化・伝統を守り活かす組織や、ジビエや季節に応じた地域食材を活用する若者のグループなどがあります。地域の若者や移住者も参画した新たな取組は、伝統文化と融合し、地域を次の世代に引き継ぐ活動としても期待されています。

● 有限会社タナセン

鶴ヶ岡の店「ムラの駅たなせん」を運営する購買部、大豆やソバの作業受託などを通じて農地保全を行う農事部、雪かきや無償移送サービスにより高齢者などの生活を支える福祉部からなります。農協の撤退を期に、住民出資により平成11年に設立されて以来、住民生活や地域環境を支えています。

○ ムラの駅たなせん

コーヒー、お弁当、野菜、お菓자에靴下、肥料、農薬、鎌などバラエティ豊かな品揃え。訪れる鶴ヶ岡住民にとって、たなせんは買い物だけではなく「あそこに行けば誰かいはるかも」という寄りどころとしての機能もあります。挽きたてコーヒーを片手に互いの健康を確認し合う方、日参して店のなかから鶴ヶ岡を眺める方、80代女子会などなど。ここに来れば鶴ヶ岡の誰かに必ず会えます。鶴ヶ岡ムラの憩いと安心のステーションです。

- ・ 営業時間：8時～18時(平日・土曜日) 9時～17時(日曜日・祝日)
- ・ 休業日：年末年始・お盆

○ 鶴ヶ岡ふるさとサポート便

高齢者などの買い物を支援するため、注文に応じて商品を届けます。また、販売する野菜の集荷を行います。

- ・ 配達日：月・水・金曜日

○ 高齢者等無償移送サービス

買い物や診療に自力で行けない高齢者などを対象として、市営バスやデマンドバスが運行しない時間帯に、専用車両による移送を行っています。

○ 除雪代行

「南丹市高齢者等除雪対策事業」を活用して、タナセン福祉部が除雪を代行しています。ニーズに応じて対象となる高齢者宅を登録して専任のオペレーターをつけ、依頼ごとに除雪を行います。利用者は1割負担です。(費用例:家から道までの除雪30分なら機械作業175円、手作業125円)

○ コイン精米機

○ 電気自動車急速充電スポット



ムラの駅たなせん(左)と鶴ヶ岡振興会

● 鶴ヶ岡の未来を考える女性の会(鶴女)

美山町内で、最後まで活動を続けていた鶴ヶ岡婦人会が解散したあと、女性の力を生かし、地域の未来を考え盛り上げていくことができたことと活動しています。年末年始とお盆の頃に、ムラの駅たなせん前でペットボトルツリーを点灯したり、振興会の夏まつりなどをお手伝いしたりと、細々とした活動ですが、思いを切らず工夫して続けています。

● サークル花づる

平成15年に結成し、ムラの駅たなせんの横にある「花づるの丘」やその周辺の除草、花の植え付けなどの環境整備を月1回程度行っています。「花づるの丘」や周辺の草が引け、きれいな花で彩られるのが何よりの楽しみです。作業休憩時に、みんなで美味しいコーヒーとスイーツを味わいながら、おしゃべりをするのも楽しみのひとつになっています。

● おはなしボランティア「赤ずきん」

平成16年に、鶴ヶ岡振興会が子育て支援を目的に、住民にメンバーを募ったところからスタートしたサークルです。高齢者のミニデイサービスや地域の方の集まりなどのほか、小学校の読み聞かせにも出向いています。また、絵本や紙芝居の読み聞かせだけでなく、地域に残る昔話や実話をもとにした紙芝居も制作しています。

● 京都みやまごんべの会

農林産物を創り出す「楽しみ・苦しみ・喜び」を体験するとともに、安心して使える食材、ものづくりを通じて会員相互の交流を図ることを目的に平成14年に組織されました。現在はソバづくりを通じて都市部の会員と夏・秋に交流しており、振興会行事などでは手打ちそばの販売も行っています。

● NPO法人京都桑田村

豊郷地内のお年寄りの知恵や技術を活かした集落元気づくりの事業から生まれたNPO法人。桑の栽培を通じて京都市内の保育園児や大谷大学幼児保育科の学生と昔遊びの指導などで交流しています。

● ムラガール食堂

新たな交流と地元住民がムラがるたまり場として、地元の若手が創るワクワク空間。ムラの駅たなせん前で月1回オープンする朝市的野外食堂です。オシャレでハイクオリティー、美山の食材にこだわった季節ごとの逸品はプロ料理人の腕が光ります。夜の屋台(桜や紅葉のライトアップ)やシルバーデー(高齢者割引)なども実施しています。

● teamごんせ

平成27年に消防団員をメンバーに発足した的屋集団です。「美味しいもの地産地消」をモットーに美山町のイベントならどこでも出店しています。また、子どもも楽しめる内容になればと、射的や綿菓子もはじめました。ごんせの由来は、鶴ヶ岡の一部の方言で、「こっちごんせ、ごんせのお」(こっちへおいでの意味)からきています。

鶴ヶ岡の暮らし

学校など

- みやま保育所（保護者が送迎）
- 美山小学校（スクールバスで通学）
- 美山中学校（市営バスまたは自転車で通学）

医療

各病院で受付時間や診療科目が異なりますので、詳しくは各病院にお問い合わせください。

● 南丹市美山林業者等健康管理センター診療所

※呼称は「林健センター(りんけんせんたー)」

所在地：南丹市美山町鶴ヶ岡釈迦堂前14-1 電話：0771-76-0201

診療科目：内科、小児科、整形外科

診療受付時間	日	月	火	水	木	金	土
9時～11時30分(内科)	—	—	—	—	○	○	—
9時～11時30分(小児科)	—	—	—	○	—	—	—
9時～11時30分(整形外科)	—	—	—	○	—	—	—

※祝日、年末年始は休診 ※整形外科は第2、第4水曜日のみ診療

● 美山診療所

所在地：南丹市美山町安掛下8 電話：0771-75-1113

診療科目：内科、外科、呼吸器科、精神科、心療内科、糖尿病・甲状腺外来、健康診断

診療受付時間	日	月	火	水	木	金	土
8時～11時30分	—	○	○	○	○	○	○
16時30分～18時45分	—	○	—	—	○	—	—

※祝日は休診 ※糖尿病、甲状腺外来は第4木曜日 13時～17時

● 明治国際医療大学附属病院

所在地：南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1 電話：0771-72-1221

診療科目：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科、神経科、整形外科、
外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
リハビリテーション科、皮膚科、歯科

診療受付時間	日	月	火	水	木	金	土
8時30分～11時30分	—	○	○	○	○	○	—

※祝日、年末年始、10月3日(創立記念日)は休診

● 京都中部総合医療センター

所在地：南丹市八木町八木上野25 電話：0771-42-2510

診療科目：内科・総合内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、
脳神経内科、肝臓内科、脳神経外科、外科・消化器外科、小児外科、
呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、
心臓血管外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
眼科、精神科、麻酔科、放射線科、歯科・歯科口腔外科

診療受付時間	日	月	火	水	木	金	土
8時30分～11時30分(初診)	—	○	○	○	○	○	—

※祝日、年末年始は休診

● みやま岡田歯科医院

所在地：南丹市美山町中上前83 知井会館1F 電話：0771-77-0010

診療受付時間	日	月	火	水	木	金	土
10時～13時	—	○	往診	○	○	▲	○
15時～19時	—	○	▲	○	○	—	—

※祝日は休診 ※▲は要電話確認

● 荒木歯科医院

所在地：南丹市美山町静原森ヶ下14-1 電話：0771-75-0271

診療受付時間	日	月	火	水	木	金	土
10時～18時	—	○	—	—	—	○	—
9時～18時	—	—	○	—	—	—	—
9時～16時30分	—	—	—	—	—	—	○

※祝日は休診 ※全日予約制

雪

近年は暖冬の影響で少なくなってきましたが、鶴ヶ岡は雪深い地域で、住民は雪慣れしています。道はきれいに除雪され、雪で孤立することはありません。

● 除雪

自宅周辺の雪かきは各自でしていますが、幹線道路の除雪は、府や市から業務委託を受けた業者により行われ、10センチ雪が積もると除雪車が出勤します。(タナセンの除雪代行→P5)

● スタッドレスタイヤ

12月から3月の間は、橋の上や道路が凍結するため、スタッドレスタイヤを着用しておくのが安全です。

サイレン

正午に大音量のサイレンが1分程度流れます。初めて聞く方は、とてもびっくりすると思います。



危険動物

● 熊

熊はビックリさせたり怒らせたりすると大変危険な動物ですが、通常は熊の方から襲ってくることはありません。万が一熊を発見した場合は、騒がずゆっくりその場を離れることが重要です。年に数件、熊の出没情報があり、柿の木の周辺などに出没します。熊の出没情報は、防災無線や美山暮らしのアプリを通じて即座に住民に伝えられます。

● 蜂

蜂は夏場に出没します。特に危険なスズメバチやアシナガバチを見かけたときはすぐに逃げましょう。蜂の駆除は大変危険ですので、プロの業者に任せるようにしましょう。鶴ヶ岡では、ミナコロハッチ(電話：090-2594-4274)が引き受けてくれます。

ごみ

南丹市役所から各戸に配布される冊子「ごみの正しい分け方と出し方」と「南丹市ごみ収集カレンダー(美山町)」を、ご覧ください。

● ごみ出しのルール

- ・ごみは、収集日当日の8時30分までに出示してください。
- ・指定袋に必ず入れ、氏名を書いてください。
- ・区ごとに指定の収集場所があります。各区の地図を参考に区長へ確認してください。

● 資源ごみの回収

ツルガオカカンキョウセイビ(→P3)の時にいきます。回収した資源ごみの収益は地域活動に役立てます。

- ・回収品目：古新聞、古雑誌、ダンボール、アルミ缶、古着

下水道

下水の処理方法は地域や家ごとに異なり、「合併浄化槽」「農業集落排水」「汲み取り式」のパターンがあります。(→P11) 整備状況は家ごとに異なりますが、各区の主な処理方法は次のとおりです。

● 合併浄化槽

【高野】今宮、栃原、砂木
【字鶴】棚
【豊郷】松尾、神谷、名島、洞
【盛郷】田土、上吉田、林
【福居】庄田、脇、熊壁、山森

● 農業集落排水

【字鶴】川合、殿、舟津

香典返し

美山町内では、申し合わせにより香典のお返しを廃止しています。

鶴ヶ岡の防災対策

避難所

旧鶴ヶ岡小学校が市指定広域避難所です。各区にも市指定一時避難所があります。

鶴ヶ岡防災マップ

大雨による災害が毎年発生している現状から、平成30年度に大雨による危険箇所を地図に示し、一時避難所の確認や避難経路の共通認識を図りました。各区から提出されたものをまとめ、鶴ヶ岡全体の防災マップとして作成し、地域全体で防災意識の高揚に努めています。鶴ヶ岡防災マップは、旧鶴ヶ岡小学校に掲示しています。



鶴ヶ岡防災マップ

鶴ヶ岡ふるさとレスキュー隊

日中の消防団員の不在が深刻な状況であることを踏まえ、住民が安心して暮らせる地域づくりをめざし、平成20年に消防団OBを中心に「鶴ヶ岡ふるさとレスキュー隊(消防協力隊)」を結成しました。公的消防に全面的に依存するのではなく、「自らの地域は自らで守る」という住民としての使命を認識し、初期防災活動に積極的に協力しています。

鶴ヶ岡災害時連絡網

鶴ヶ岡独自の災害時連絡網を毎年作成し、災害に備えています。

原発事故対策

福井県の高浜・大飯の両発電所の半径30キロメートル圏内(UPZ)にほぼ美山町全域が含まれるため、地域防災計画と住民避難計画が策定されています。

放射能測定器

各区に配布、設置されています。



放射能測定器



禍い転じて福と為すと刻まれた碑(旧鶴ヶ岡小学校前)



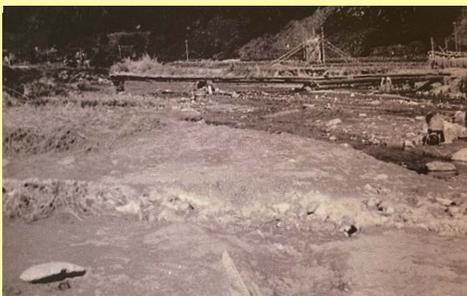
おはなしボランティア「赤ずきん」の紙芝居



当時の様子(川合)



学校の渡り廊下に張ったロープを伝って渡る



当時の様子(松尾)



浸水し始めた講堂でピアノを演壇に運び上げる

「二八水」について
昭和28年9月25日に美山町を襲った台風13号は、とりわけ鶴ヶ岡地区に大きな爪痕を残しました。
この時の被害を鶴ヶ岡の住民は「二八水(にじゅうはっすい)」と呼び、今も語り継いでいます。

おはなしボランティア「赤ずきん」は、二八水の記憶を伝えるため、紙芝居や記録集としてまとめました。

消防団について

地域の安全・安心は、みんなで守るものです。仕事や年代が異なる方と同じ目的を持って活動することで、地域を守るための知識や技術を習得できるだけでなく、いろいろな考え方やものの見方が身につきます。同じ地域で暮らす一生の仲間ができます。強制ではありませんが、18歳以上の社会人男性はぜひ入団していただき、50歳頃(50歳以上でも大歓迎)までは団員として地域を支えてください。



● 主な活動

どの活動も地域を守るための活動です。できるだけ積極的に参加してください。また、活動後の慰労会や旅行もありますので、仲間同士で楽しく過ごしてください。

◎は奇数、偶数年度共通の活動です。

奇数年度

入団者や全団員に関わるもの（年20回程度）

◎ 毎月1回（1月は17日）夜間

火の元点検（全団員）※全戸へ防火訪問

● 4月1日夜間

入退団式（副分団長以上・入退団者）

◎ 4月下旬（日曜日）午前

南丹・船井支部教育訓練（指導員・初任者）
※基本動作の訓練

● 6月上旬（日曜日）午前

分団総合訓練（全団員）※基本動作の訓練

◎ 9月下旬（日曜日）午前

総合防災訓練（全団員）※災害を想定した避難誘導訓練など

◎ 11月上旬（日曜日）午後

秋季火災予防運動 非常招集訓練（全団員）
※火災を想定したポンプ放水訓練

◎ 12月28日・29日の夜間

年末警戒 火の元点検（全団員）
※全戸への防火訪問

◎ 3月上旬（日曜日）午後

春季火災予防運動 非常招集訓練（全団員）
※火災を想定したポンプ放水訓練

鶴ヶ岡分団 54名（平成31年4月1日現在）

鶴ヶ岡分団は美山支団（美山町全域）に、美山支団は南丹市消防団（南丹市全域）に所属しています。

● 本部 6名（分団長1名・副分団長2名・指導員2名・分団主任1名）

● 第1部 16名【盛郷・福居】（部長1名・班長2名・団員13名）

● 第2部 12名【鶴ヶ岡】（部長1名・班長1名・団員10名）

● 第3部 14名【高野】（部長1名・班長1名・団員12名）

● 第4部 6名【豊郷】（部長1名・班長1名・団員4名）

偶数年度

入団者や全団員に関わるもの（年30～50回程度）

● 4月1日夜間

入退団式・幹部辞令交付式（班長以上・入退団者）

● 5月下旬（日曜日）午前

分団総合訓練（全団員）※基本動作・ポンプ操法の訓練

● 5月下旬～6月上旬夜間に7回（3回×2週+a）程度

分団操法訓練（全団員）※ポンプ操法の訓練

● 6月上旬（日曜日）午前

分団操法大会（全団員）※ポンプ操法の分団大会

● 6月中旬～7月上旬夜間に10回（3回×3週+a）程度

美山支団操法訓練（支団代表部）
※訓練は代表要員のみ。要員以外の代表部は訓練補助
代表部以外も週1回程度は訓練補助

● 7月上旬（日曜日）午前

南丹市消防団操法大会（支団代表部）

※ポンプ操法の市大会
出場は代表要員のみ。要員以外の代表部も大会に参加

● 7月上旬～7月下旬夜間に10回（3回×3週+a）程度

美山支団操法訓練（市代表部）
※訓練は代表要員のみ。要員以外の代表部は訓練補助
代表部以外も期間中1回程度は訓練補助

● 7月下旬（日曜日）昼間

京都府消防操法大会（市代表要員）

※ポンプ操法の府大会。出場は代表要員のみ

鶴ヶ岡の氏神様

各区ごとに氏神様があり、氏子範囲も異なります。

各区の氏神様早見表

※神社仏閣の場所など詳しくは各区ページを参考にしてください。
()内は所在地です。

区	氏神様			
今宮	今宮神社	今宮稲荷神社 (今宮)	高野天満宮 (栃原)	諏訪神社・八幡神社 (川合)
栃原				
砂木				
棚				
川合	天満神社			
殿	玉森稲荷神社			
舟津	稲荷神社	御霊神社		
松尾	琴平神社	八坂神社 (神谷)	鈴波神社 (松尾)	
神谷				
名島				
洞	八坂神社	愛宕神社		
田土	稲荷神社	大森神社		天満宮 (林)
上吉田	祇園神社	稲荷神社	三宝荒神	山王神社
林	水天宮			
庄田			八坂神社 (熊壁)	
脇	毘沙門天			
熊壁				
山森	許波岐神社	稲荷神社		

● 諏訪神社

旧鶴ヶ岡村の郷社として崇敬を集めています。
祭神は建御名方神(たてみなかたのかみ)で、京都市右京区京北弓削から知井にかけて伝わる八鹿(やつしか)退治にまつわる物語がこの神社の創建に出ています。したがって、農耕・狩猟の神として崇められています。
祭礼日は10月5日で、15年ごとの中祭、30年ごとの大祭が「棚野の千両祭」として有名です。



● 諏訪神社費

鶴ヶ岡の大半の住民は氏子となっています。このお金は諏訪神社の保存のために使用されます。区費などと合わせて区ごとに集金します。

諏訪神社費	100円/月
奉納芸積立	50円/月
合計	150円/月

● 奉納芸積立

諏訪神社大祭(別名:棚野の千両祭)の奉納芸のために積立を行っています。

● 諏訪神社お狩り初め

神社の由緒に関わる行事として毎年1月5日に行われる神事です。神主、禰宜そして獵友会メンバーを従えた一行は、お狩り場と設定された集落の小祠(御旅所)まで旅をされます。